

「学術情報の発信に関する アンケート調査」概要報告



北海道大学附属図書館
鈴木 雅子

アンケート実施概要

- 調査機関 平成16年11月29日～12月10日
- 調査対象 本学全教員(助手以上) 2142名
- 回収枚数 508枚 うち配布範囲から466枚
- 回収率 22% (466/2142)
 - 学内便で送付。Web回答フォームも作成
 - 回収 紙:Web = 62% : 38%
 - 鏡(館長名),用語解説(オープンアクセス, green publisher) , 参考資料(「学術機関リポジリって何?」を作成)を同封
 - ポスター2種類x100枚(A3)作成

アンケートQ1: 電子的学術情報の保持状況

- 電子的学術情報を持っている 72% (336名)
- 種類
 - 「商業誌・学会誌に掲載された論文」90% 「学会等発表論文・プレプリント」70% 「学位論文」50% 「教材」46%
- 公開状況
 - 「商業誌・学会誌に掲載された論文」は「外部のサイトから公開」されている割合が最も高く、他の種類の情報はすべて「公開していない」割合が最も高かった
- データ形式
 - 「PDF」77% 「MS Word」28% 「HTML」28%

アンケートQ2:オープンアクセスについて

□ 賛同 91%

- 既に実践 11% 賛同するが実践していない 54% 機会があれば実践したい 26%

□ 不賛同 4%

- どちらかという賛同できない 2% 賛同できない 2%

□ その他 5%

- 5割: 条件付きで賛同 (著作権, データの内容等)
- 4割: 現時点では判断できない
- 内容についてのcheck機関がないと発信者の都合の良い情報のみ出され学術データの捏造等のトラブルを促進するため賛同できない
- OA導入が出版社の減収につながるなら学術雑誌の質の維持・向上に支障をきたすことが予想されるため導入は慎重に行う必要がある

アンケートQ3: 学術機関リポジトリについて

- 賛同するので登録したい 70%
- 賛同するが登録したくない 14%
- 賛同できない 3%
- その他 13%

アンケートQ3:「その他」の意見

- 5割:条件付きで賛同するので登録したい(→次頁)
- 4割:現時点では判断できない
- 現状で何も問題ない
- 充分公開済み。何の意味が新たに生じるのかが知りたい
- 自分で作業する手間をかけるのは時間の無駄
- 電子情報公開に関する公的なプロジェクトが多すぎる。効果的に統一することが経費節減や研究者の時間と労力の減少につながる。結局、Googleのような検索エンジンが現在ではもっとも利用しやすい。このような現実をふまえての検討が必要。
- 有料にすべき

アンケートQ3: 「その他」のうち「条件付きで登録したい」条件

- 登録内容を選べるなら 8件
- 負担が少ないなら 7件
- 著作権がクリア, 図書館でクリアにしてくれるなら 5件
- 信頼性のあるデータ等についてはポジティブであるが、信頼性が疑わしいものが乱発されることが心配
- Q2で答えた内容に関して安心できる理由があれば
- 本学の研究者情報等への業績の登録が省略できるのであれば大いに賛成。PDFを各個人で新たに作製する等、これ以上雑用が増えるのであれば賛同できない
- 賛同するので、提供した電子的学術情報をWeb上で見やすいように編集し、登録作業を行って欲しい。サーバを設置するだけではなく、学術情報の書式を整えるなどの編集、登録作業をする人材、部署も配置されることが必要。学術雑誌出版社に委託するのが効率的?

アンケートQ4-1: 学術機関リポジトリに登録したい理由(複数回答) 328人対象

- 研究結果をより多くの人に公開できるから 92%
- 研究・教育資源の共有化に有効だから 61%
- 可視性が上がり論文等の被引用率が高くなる51%
- 研究成果等を永続的に保存できるから 29%
- 大学の知名度や評価を上げることができる 20%
- オープンアクセス運動に賛同しているから 18%
- 大学による統一的な発信体制の確立が必要 18%
- その他 2%

アンケートQ4-1:「その他」の意見

- 自分自身でも出張時などに便利
- 別刷請求に対する返事が簡単
- 本来、学術論文の使用権は出版社でなく、著者個人に帰属すべきであるから
- Webは基本的に世界的な統一言語と考えているので、そのWebの発表様式により大きな社会還元(一般も含む)ができそうだから

アンケートQ4-2: 学術機関リポジトリに登録したくない理由(複数回答) 79人対象

- 著作権上の問題が心配 66%
- 登録作業が面倒だと思う 63%
- 研究成果等は学術雑誌に発表すれば十分 56%
- 学術機関リポジトリに関する情報が不足 51%
- 利用者による悪用が心配 48%
- 何を登録すればよいかわからない 17%
- その他 2%

アンケートQ4-2:「その他」の意見

- 登録者の負担が増えるのが心配 5件
- 作業量に見合うだけの価値があるのか疑問 4件
- 発信する情報の質を保証するシステムがない情報はかえって有害 2件
- 学術商業出版社の存続に不安 2件
- 日本あるいは北大の利益のための戦略が明確にならないうちは、データの積極的公開に賛同できない

アンケートQ5: green publisher に論文を発表した経験

- 発表したことがある 57.7%
 - Elsevier 83%
 - Blackwell 32%
 - Kluwer 20%
- 発表したことがない 32.6%
- 分からない 9.7%

番外: もう少し詳しくご意見を伺うために連絡してもよろしいですか?

- はい 35%